

平成30年 造園業死亡災害の事例

各都道府県労働局発表データより作成

	都道府県	事故の型	起因物	災害の状況
1	宮城	激突され	立木等	チルホールを使い、約15mの偏心木を伐採する際に、被災者がチェーンソーで追い口を切ったところ、偏心木が想定外の方向に倒れ、下敷きとなった。
2	宮城	転倒	整地・運搬・積込用機械	仮置き場にて、トラックから降ろした剪定した枝葉をトラクターショベルで押していたところ、トラクターショベルが左に転倒し、ヘッドガードの支柱と地面の間に運転手が挟まれた。
3	茨城	切れ・こすれ	一般動力機械	竹林にて、伐採した竹が付近の電線に引っかからないよう支えていたところ、同僚が使用する刈払機の刃が被災者に当たり両足太腿部を切創した。
4	茨城	激突され	一般動力機械	堤防斜面の除草作業にて、乗用集草機(重量1.5t、立位運転)で作業していたところ、運転台から転落し、後退してきた集草機にひかれた。
5	群馬	墜落・転落	はしご等	10段の三脚脚立を使用した松の芽摘みの作業中に、バランスを崩して墜落した。
6	埼玉	おぼれ	水	河川の堤防の草刈り作業中、川に転落して溺れた。
7	埼玉	墜落・転落	移動式クレーン	移動式クレーンのジブの先に取り付けられたカゴと呼ばれる搭乗設備に乗り、リモコンで操作しながら剪定作業を行っていたところ、カゴから地上に墜落した。
8	千葉	はさまれ・巻き込まれ	移動式クレーン	植木の移植のため、移動式クレーン(2.9t)で植木を吊り上げたが、枝等がジブに接触して持ち上げられず、植木を穴に戻したところ、被災者が穴に落ちていたため下敷きになり、胸部を圧迫された。
9	東京	墜落・転落	一般動力機械	護岸ブロック上の草刈りを行うため、乗用の草刈り機に乗り、傾斜のある護岸ブロックを登ろうとしたところ、車体と共に転落し、車体と地面の間に頭部を挟まれた。
10	東京	転倒	通路	公園内での剪定・伐採作業の片づけを行っていた際、前方に転倒した。
11	神奈川	飛来・落下	立木等	護岸工事の工事用道路敷設にあたり、高さ約20mの立木を被災者がチェーンソーで切断していた際、幹が途中から裂け、隣接する立木に倒れかかり、その立木との間にはさまれた。
12	神奈川	高温・低温のものと接触	高温環境	草刈りの補助業務を行っていた被災者が、熱中症を発症して倒れた。
13	佐賀	墜落・転落	地山・岩石	法面保護工事の斜面にて、モルタル吹付前の養生作業をロープ高所作業で行っていたところ、高さ約13m、傾斜約16mの法面から墜落した。
14	熊本	墜落・転落	立木等	高さ約6mの立木上で剪定作業を行っていた被災者が、枝上に座っていたところそこから墜落した。